

西伊豆健育会病院 3階病棟 看護師 渡辺 典子

功 績 今年度、10名の新人看護師（全常勤看護師41名のうち）の入職をうけ、「看護記録サポートファイル」を作成し、看護記録記載方法の円滑且つ的確な指導に大きく寄与した功績。

推 薦 者 磯谷里佐

推 薦 理 由 渡辺は入職20年目のベテラン看護師です。今回、全常勤看護師の1/4が新人となる4月に向け、昨年末から教育方法について準備する中、「看護記録サポートファイル」を提案し、作成してくれました。このことにより、記録内容の標準化と指導方法の統一がなされ指導する側・される側双方の負担軽減となりました。自分に与えられた役割だけに留まらず、積極的に提案を行い実行に移すことで、当院の質の向上に大きく貢献した渡辺を理事長賞に推薦致します。

内 容

渡辺は入職20年のベテラン看護師です。今年度、3年目の看護師がプリセプターとして新人指導にあたることに際し、サポート役を引き受けてくれました。

当院では4年前より中国人看護師を受け入れていて、今年は6名の中国人看護師と4名の日本人看護師、計10名という大勢の新人看護師を受け入れることとなりました。毎年のように言葉の壁、看護教育の違いから指導者はもちろん指導される側も苦勞していました。そんな中、今年度「看護記録サポートファイル」を作成し全スタッフに配布することができました。

渡辺は記録委員会メンバーとして、また看護必要度の院内指導者として新人看護師の指導に大きく関わっていて、「記録のトピックス」を毎月1回発行し、看護記録の書き方のポイントを提示するなど、誰が見ても患者さんの様子がわかる看護記録の大切さを熱心に指導してきました。しかし、上手く理解できていなかったり、指導方法が人によって様々であったりすることから、戸惑い、うまく前に進めていない新人がいるのも事実でした。そこでいつでも確認でき、且つ人によって差の出ない指導が必要と考え、記録委員会の中で「看護記録サポートファイル」を提案し中心となって作成してくれました。

渡辺は准看護師として当院に入職して3人の子育てをしながら看護師免許を取得した努力家で、自分が苦勞して学んだ経験を活かし、ファイルには看護記録の書き方のポイントが収められています。中にある看護サマリの見本は記載する本人だけではなく、院内外の多職種、誰が見ても理解できるように配慮した内容となっています。また全スタッフに配布したことで誰に聞いても同じ回答が返ってくる仕組みとしました。これは教える側のストレス軽減、教えられる側の不安軽減にも繋がっています。

このように自分に与えられた役割だけに留まらず、積極的に提案を行い実行に移すことで当院の質の向上に大きく貢献した渡辺を理事長賞に推薦致します。